

感謝の心を育てる ～日々の暮らしの有難さを知る～



それぞれの家まで送ります

皆さん、こんにちは。日本では今、春の嵐が過ぎ、初夏の日差しがまぶしい季節でしょうか。カンボジアではまだまだ暑い日が続き、昼間は毎日35度を越えています。そんな暑さの中でも元気に登下校する子どもたちには、驚くばかりです。

さて、今回のドリーム通信では、今年のクメール正月の一時帰省の様子と、今月新しく入園した子ども3名について、お伝えいたします。

クメール正月一時帰省

毎年4月14、15、16日の3日間は、カンボジアのお正月なので、前後二週間ほどは学校も会社もほとんどがお休みになります。園では毎年このクメール正月に合わせて、約一週間の一時帰省を実施しています。

今回は4月10日から18日の8日間、帰省を行いました。帰省当日は69人の子どもたちをそれぞれの家まで送り届け、育ての親である親戚や祖父母たちに園での様子を報告します。学校での成績や園での生活態度について、良かったところだけでなく、もちろん問題のあったところも報告し、問題のあったところについては、家族からも指導してもらうようお願いします。子どもたちには、1週間の間に親戚や兄妹と園での生活や将来のことについて、しっかりと話し合うことを伝えました。

18日、子どもたちは一時帰省の8日間で真っ黒に焼けた顔をして帰ってきました。それぞれ楽しかった思い出や家族と話し合ったことなどを報告し合い、久しぶりの友達との再会を喜んでいました。69人、誰一人怪我をすることなく、戻ってくる事が出来、一安心です。

次の日、帰省中につけていた日記を確認すると、毎日お手伝いをしたこと、畑仕事をしたこと、お寺に行ったこと、親戚と遊びに行ったこと、地元の友達とお喋りをしたことなどがたくさん書かれていました。

また、今回の帰省で子どもたちには宿題を出していました。それは、「園に入る前の家での生活を思い出し、文字にするこ



車の通れない吊り橋を歩いて家まで送ります



久しぶりの再会を果たした親戚に挨拶



1週間お世話になった祖母とお別れ

と。そして今の園での生活との違いを考えること」でした。これは今の暮らしを当たり前のものだと感じることなく、毎日感謝することを思い出させるために、宿題を出しました。日記帳にはそれぞれの入園前の家での生活のこと、その大変さや辛さ、園での生活の有難さなどが書かれていました。

年二回の一時帰省により、昔の暮らしを思い出し、孤児院に入園出来たことに感謝し、また日々の暮らしは決して当たり前のものではなく、日本の支援者様のおかげで生活出来ていることを知る良い機会になっています。この経験を通じて、日々の暮らしに感謝することを忘れず、自分たちの将来を豊かな物にしていくために、毎日努力を続けることが出来る子に育てて欲しいと思います。

新しい子どもが入園しました！

一時帰省から戻った4月22日、「夢追う子どもたちの家」に新しく3人の子どもが入園しました。3人は兄妹で、一番上からタッ・ピセット（12歳・男）、タッ・スレイモイ（10歳・女）、タッ・ポッ（7歳・男）です。

3人は元々園のあるクラコー郡に両親と共に住んでいたのですが、両親が仕事を探すためにタイとの国境の町、ポイペトに移り住みました。しかし、ポイペトに住んでしばらくして父親の暴力が原因で両親が離婚。兄妹は母親に引き取られました。しかし母親は再婚してタイに出稼ぎに行くから、と兄妹は父親の元に預けられ、そこで1年ほど過ごしたのですが、父親も再婚してタイに行くから、と今度はクラコーの曾祖母の元へ連れてこられました。タイへ行った両親からは何の便りもなく2年以上が過ぎ、曾祖母も高齢で面倒を見れなくなってきたため、園に入れて欲しい、とお願いされました。

曾祖母はポルポトの時代にプノンペンからクラコーに流れてきて、そのまま住み着きました。土地を持っていたのですが、騙されて売り払われ、手元にはわずかなお金しか残らなかったそうです。そのため、土地も家もなく、3人の曾孫と一緒に赤十字のクラコー支部センターで掃除と警備をする代わりに住まわせてもらっている状況でした。毎月の給与は12.5ドルとお米が少々で、とても生活出来るものではありません。

私たちが調査に行くと、3人と3歳の妹の4人は皆笑顔もなく、厳しい顔をしていました。今回、一番下の3歳の女の子以外の3名が入園し、少しずつ彼らに笑顔が戻ってきました。まだ慣れない園での生活に、兄妹3人で固まっていることも多いですが、他の子たちからたくさん影響を受け、彼らに笑顔が戻るように、子どもらしく伸び伸びと成長し、将来は少しでも豊かな暮らしが出来るように、そして豊かな人間性を持てるように、これから園で彼らの成長を支えていきたいと思っています。



帰りの車ではお喋りが止まりません



お兄ちゃんにべったりの弟と妹



家へ調査に行った時。笑顔は見られません